

Point 113

- 441 I don't understand () you had to do it yourself.
 ① what ② which ③ who ④ why (東京経大)
- 442 It is difficult to say () the plan would cost.
 ① how many expenses ② how much
 ③ no matter what ④ whatever (関西学院大)
- 443 “() do you eat out?”
 “Twice a month.”
 ① What time ② Where ③ How often ④ How come (大阪産大)
- 444 How () does it take to get to Oxford University?
 ① much ② long ③ far ④ many (大阪産大)
- 445 We are supposed to go out for dinner tonight. How () can you finish the report?
 ① often ② long ③ much ④ soon (東京電機大)

Point 114

- 446 I wanted to know () the problem.
 ① how she could be solved ② how she solved
 ③ how could she solve ④ how did she solve (立正大)
- 447 Please tell me () from your new apartment to the station.
 ① how long is it ② how far is it
 ③ how far it is ④ how long it is (慶應義塾大)
- 448 メキシコの人口をご存知ですか？
 Do you (what / is / the / know / of / population / Mexico)?
 (名城大)

- 441 なぜあなたがそれを自分でしなけりばならなかつたのか、私にはわからない。
- 442 その計画にどのくらい費用がかかるのかを言うのは難しい。
- 443 「どのくらい外で食事をするの？」
 「1か月に2回だね」
- 444 オックスフォード大学に着くまで、どのくらいかかりますか。
- 445 私たちは今晚は外で食事をするつもりです。あとどれくらいでレポートを仕上げる事ができますか。

Point 113 疑問詞の基本的用法

- 441 疑問代名詞と疑問副詞 基本
▶ 空所以下に完結した英文が来ていることに注意。①~③はいずれも疑問代名詞。節内で(代)名詞は働く余地がないので、疑問副詞の④ why が正答。
- 442 **how much** 「金額・量」を問う 基本
- 443 **how often** 「頻度・回数」を問う 基本
- 444 **how long** 「時間の長さ・物の長さ」を問う 基本
▶ **プラス** ③を入れた **how far** は、「距離」を問う疑問詞で、**How far is it from A to B?** 「AからBまでどれくらいの距離ですか」の形で用いることが多い。
- 445 **how soon** 「今からどれくらいたつと」―「時間の経過」を問う 標準

整理 42

「how+形容詞・副詞」で問う内容

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| • how far 「距離」 | • how large 「大きさ・広さ」 |
| • how long 「時間の長さ・物の長さ」 | • how often 「頻度・回数」 |
| • how much 「金額・量」 | • how soon 「時間の経過」 |

* 「how+形容詞・副詞」で形容詞・副詞の程度を問う表現は多いが、上記は特に重要なもの。

Point 114 間接疑問と語順

- 446 間接疑問―平叙文の語順 基本
▶ 間接疑問の節内は平叙文と同じ語順になる。How did she solve the problem? の疑問文を間接疑問にすると、... how she solved the problem になる。
- 447 **How far is it from A to B?** の間接疑問 標準
▶ 「距離」を問う疑問詞は **how far** である (→ 444, 【整理42】)。
▶ 間接疑問の節内は平叙文の語順なので、How far is it from A to B? は、... how far it is from A to B になる。
- 448 **Do S know** + 「疑問詞で始まる間接疑問」? 標準
▶ **yes / no** の答えを求める疑問文の場合、動詞の後に、その目的語となる疑問詞で始まる間接疑問を置く。
▶ 文構造どおりに訳すと、本英文は「メキシコの人口がいくらかあなたは知っているか」となる。

446 私は、彼女がどうやってその問題を解いたのか知りたかった。

447 あなたの新しいアパートから駅までどのくらいの距離か、私に教えてください。

441 ④ 442 ② 443 ③ 444 ② 445 ④ 446 ② 447 ③

448 know what the population of Mexico is

449 ねえ、昨日誰が洋子に電話したと思う？

□□□ Listen, (called / do / think / who / Yoko / you) yesterday?

〈川崎医療福祉大〉

Point 115

450 寝る所がない人もいますよね。

□□□ Some people don't have any place to sleep, () they?

① are ② do ③ don't ④ will

〈山梨大〉

451 All the students understood the lecture, () ?

□□□ ① didn't they ② do they

③ don't they ④ weren't they

〈京都産大〉

452 He has kept his promise to come to the party, () ?

□□□ ① hasn't he ② didn't he ③ did he ④ has he

〈佛教大〉

453 Please say hello to your family for me, () you?

□□□ ① do ② don't ③ won't ④ have

〈西南学院大〉

454 Let's have lunch at the Italian restaurant, () ?

□□□ ① don't you ② will we ③ will you ④ shall we

〈畿央大学〉

Point 116

455 “Where () you come from?”

□□□ “Oh, I'm English.”

① did ② have ③ do ④ are

〈上智大〉

451 学生たちはみんな、その講義がわかったのですね。

452 彼は、そのパーティーに来るという約束を守ったのですよね。

453 ご家族の皆さんによろしくお伝えくださいね。

454 イタリア料理店でランチを食べようよ。

455 「お国はどちらですか」

「ああ、私はイギリス人です」

449 疑問詞+do you think+V...?

標準

▶ **do you think**[believe / suppose / consider]など、yes / noの答えを要求していない疑問文では、その目的語となる間接疑問の疑問詞は必ず文頭に来る。本問は who が文頭に来る。

+プラス yes / noの答えを求める場合(▶448)は、*Do you know who called Yoko yesterday?*となる。

Point 115 付加疑問

450 否定文の付加疑問

基本

▶ 否定文の付加疑問は、「..., 肯定形+人称代名詞?」で表す。

▶ 本問は一般動詞の否定形 don't have であるから、「..., do they?」となる。

451 肯定文の付加疑問

基本

▶ 肯定文の付加疑問は、「..., 否定の短縮形+人称代名詞?」で表す。

▶ 本問は一般動詞の過去形 understood が使われているので、「..., didn't they?」となる。

452 肯定文の完了形の付加疑問

基本

▶ 肯定文で has kept と現在完了が使われているので、「..., hasn't he?」となる。

453 命令文の付加疑問

基本

▶ 肯定の命令文の付加疑問は、「..., will[won't] you?」の形を用いる。

+プラス 否定の命令文の付加疑問は、「..., will you?」で表す。

454 Let's ...の文の付加疑問

標準

▶ Let's ...の文の付加疑問は、「..., shall we?」で表す。

Point 116 注意すべき疑問文

455 Where do you come from?—出身を問う

標準

▶ 出身を問う場合は、Where **do you come from?**=Where *are you from?*と表現し、現在時制を用いる。

+プラス Where *did you come from?*の過去時制だと、「さきごろまでどこにいましたか。←どこから来たのですか」の意味になる。

456 22世紀の初めには世界はどうなっているのでしょうか。

□□□ What (be / the / in / like / world / will / early) the twenty-second century? 〈千葉工大〉

457 あなたは彼のことをどう思っているの？(1語不要)

□□□ (of / do / him / think / you / what / how)? 〈朝日大〉

458 メアリーはようになったと思いますか。

□□□ What (became / think / do / you / of) Mary? 〈國學院大〉

459 How come () bring your wife?

□□□ ① did you ② did you not ③ didn't you ④ you didn't 〈宮崎大〉

460 あなたはなぜそんなことをしているのですか？

□□□ What (are / doing / for / that / you)? 〈武蔵大〉

461 たまにはご両親に電話をしたらどう？

□□□ Why (a call / don't / give / you / your parents) once in a while? 〈佛教大〉

462 “There's nothing interesting to do on rainy days like this.”

□□□ “Why () we go to the movies?”
① do ② did ③ didn't ④ don't 〈麗澤大〉

459 どうして奥さんを連れてこなかったの？

462 「こんな雨の日にしてみようという気にさせるものは何もないね」
「映画を見に行きましょうよ」

- 456 **What is S like?** 「Sはどのようなものか」 標準
 ▶ **What is S like?** は、前置詞 like(→422)の目的語が疑問詞 what になったもので、「Sはどのような(もの/人)か」という意味を表す。
 ▶ 本問は未来のことなので、What will S be like ...? となる。
 +プラス この表現の主語に形式主語の it を用い、to 不定詞と対応させた **What is it like to do?** 「…するというのはどういうことか」の形も頻出。
What is it like to live in the country late in life?
 (晩年を田舎で暮らすというのはどのようなことだろうか)
- 457 **What do you think of/about A?** 「Aをどう思いますか」 標準
 ▶ この表現は、このまま覚えてしまうこと。
 ▶ think は他動詞で疑問代名詞の what が目的語となっている。疑問副詞の how は使えない。
- 458 **What becomes of A?** 「Aはどうなるのか」 標準
 ▶ この表現も、このまま覚えるのがよい。本問は、yes / no を要求しない疑問文なので、疑問詞が文頭に出て、*What do you think became of Mary?* となる(→449)。
 +プラス **What becomes of A?** は **What happens to A?** との言いかえでもよく問われる。本問では、*What do you think happened to Mary?* となる。
- 459 **How come S+V...?** 「どうして…するのか」 発展
 ▶ **how come** は口語的表現で、**why** と同じ意味をもつが、後が平叙文の語順となる。How (does it) come (that) S+V...? の省略形だからである。
 ▶ why を使えば、*Why didn't you bring your wife?* となる。
- 460 **What ... for?** 「何のために…するのか」 標準
 ▶ **What ... for?** は、「何のために…するのか」という意味の表現。what は前置詞 for の目的語。
- 461 **Why don't you do ...?** 「…したらどう？」 標準
 ▶ 相手に対する提案を表す表現。
 +プラス **Why not do ...?** も同意表現として押さえる。
 !!注意 *Why don't you be ...?* と be 動詞が続くこともあるので注意。
- 462 **Why don't we do ...?** 「…しませんか」 標準
 ▶ 話者をも含めた提案を表す。

456 will the world be like early in 457 What do you think of him (how 不要)
 458 do you think became of 459 ④ 460 are you doing that for 461 don't you give
 your parents a call 462 ④

463 (a) Shall we go and see a film tonight?

□□□

(b) What () going to see a film tonight?

〈城西大〉

Point 117

464 (a) Nobody knows the answer to that question.

□□□

(b) () knows the answer to that question?

〈日本工大〉

465 他人の失敗のことを話して何になるというのですか。

□□□

(is / of / about / the / talking / what / use) other people's failures?

〈愛媛大〉

Point 118

466 Never () such an interesting novel.

□□□

① have I read ② have read I ③ I have read ④ read I have

〈日本大〉

467 At () time in my life have I been busier than I am today.

□□□

① any ② no ③ other ④ some

〈東北学院大〉

468 Not only () also sick when I met her last time.

□□□

① Elizabeth was tired but she was
② Elizabeth was tired but was she
③ was Elizabeth tired but she was
④ was Elizabeth tired but was she

〈福岡大〉

469 Only after a close re-examination of the material from Mars

□□□

() possible water flows.

① did the research staff at NASA discover
② the research staff at NASA did discover
③ the research staff at NASA discovered
④ was the research staff at NASA discovered

〈慶應義塾大〉

463 (a) (b) 今晚、映画を見に行きませんか。

464 (a) 誰もその疑問に対する答えを知らない。

(b) 誰がその疑問に対する答えを知っているだろうか。

466 今までこんなにおもしろい小説は読んだことがない。

467 私の人生で、今日よりも忙しかった日はない。

468 私が前回エリザベスに会ったとき、彼女は疲れていただけでなく、病気でもあった。

469 火星から持ち帰った物質を詳細に再検査して初めて、NASAの研究者たちは水流の痕跡かもしれないものを発見した。

- 463 **What about doing ...?** 「…しませんか」 **標準**
 ▶ **What [How] about doing ...? = What do you say to doing ...?** は、動名詞を用いて、話者をも含めた提案を表す(→147)。

Point 117 :: 修辞疑問

疑問文の形をとりながら、反語的に相手を納得させる表現形式を修辞疑問という。

- 464 **Who knows ...?** 「…を誰が知っていようか(→誰も知らない)」 **標準**
 ▶ **Who knows ...?** = Nobody knows ... は修辞疑問の典型例。
- 465 **What is the use of doing ...?** 「…して何になるのか(→何にもならない)」 **標準**
 ▶ **What is the use of doing ...?** も、修辞疑問の典型例。
 +プラス **It is no use doing ...** (→139) との言いかえでも問われる。本問は、以下のようになる。
It is no use talking about other people's failures.

Point 118 :: 強制的に倒置が生じる場合

問題 466 ~ 470 終了後、p.170 の【整理43】でもう一度確認しておこう。

- 466 否定の副詞表現が文頭に来た場合—倒置形 **標準**
 ▶ 否定の副詞表現が文頭に来ると、以下は倒置形(疑問文と同じ語順)になる。
- 467 倒置形が後に来れば文頭の副詞表現は否定的内容 **標準**
 ▶ At () time in my life の後が have I been と倒置形になっていることに注目。空所を埋める副詞句は否定的な意味になるはず。選択肢の中で否定的意味を表すのは② no のみ。
- 468 **Not only ... but also** ~ が文と文を結ぶ場合—倒置形 **標準**
 ▶ **not only ... but (also) ~** (→334) が文と文を結び、**not only** が文頭に来た場合、**not only** の後は倒置形が続く。
 ▶ ただし、but 以下まで倒置形になるわけではない。よって④は不可。
- 469 **only** がついた句が文頭に来た場合—倒置形 **発展**
 ▶ **only** がついた句・節が文頭に来ると、倒置形が続く。
 ▶ ④は倒置形になっているが、受動態が用いられている点が不可。

470 **nor** の後に文が来る場合—倒置形

標準

- ▶ **nor** の後に文が来る場合は、倒置形となる。**nor** の用法は問題 328 参照。
▶ 左頁【整理43】で、強制的に倒置が生じる場合を整理しておく。

Point 119 :: Neither+助動詞+S. / So+助動詞+S. など

471 **Neither will Mary.**

標準

- ▶ 前述の否定内容を受けて、「**neither[nor]+助動詞[be動詞/完了形のhave]+S**」の語順で「Sもまた…しない」の意味を表す。本問では未来の **will** を用いた②を選ぶ。

472 **Nor has his brother.**

標準

- ▶ 考え方は問題 471 を参照。完了形の **has** が用いられている。

473 **So does mine.**

標準

- ▶ 前述の肯定内容を受けて、「**so+助動詞[be動詞/完了形のhave]+S**」の語順で「Sもまたそうである」の意味になる。本問の **keep** のように、一般動詞を受ける場合には **do / does / did** の形を使うことに注意。

+プラス よく似た形に「**so+S+助動詞[be動詞/完了形のhave]**」の形があるが、こちらは前述の内容を受けて「そのとおりだ」の意味になる。以下の例を参照。
You said he was honest and *so he is*.
(彼は正直だと君は言ったが、実際そのとおりだね)

Point 120 :: so / too / as / how と such の後の語順

474 **so+形容詞+a+名詞**

標準

- ▶ **so / too / as / how** が、後に名詞を伴う場合は「**so[too/as/how]+形容詞+a+名詞**」の語順になる。
▶ 本問は②を選んで、**so ... that** ~構文(→368)にする。

475 **too+形容詞+a+名詞**

標準

- ▶ ①を「**too+形容詞+an+名詞**」の語順にする(→474)。

476 **such+a/an+形容詞+名詞**

標準

- ▶ **such** が後に名詞を伴うと、「**such+a/an+形容詞+名詞**」の語順になる。

472 ビルはまだ、あまりお金が貯まっていない。また、彼の兄[弟]も貯まっていない。

473 「この腕時計はいつも正確なんだ」
「僕のもそうだよ」

474 彼女はとても頭のいい生徒だったので、先生たちはみな彼女に感心した。

475 私見ではあるが、これはあまりにも昔ながらの研究方法なので、あの学者たちには魅力的ではないかもしれない。

476 これほどおもしろい本をこれまで読んだことがない。

470 **nor did he move a muscle** 471 ② 472 ④ 473 **does** 474 ②

475 ① **too a traditional approach** → **too traditional an approach** 476 ①

Point 121

477 She leaves her toys all over the floor and I have to pick ().

□□□

① them up

② themselves up

③ up them

④ up themselves

〈センター試験〉

478 () it ever so humble, there is no place like home.

□□□

① Be

② Have

③ Let

④ Make

〈四天王寺大〉

479 ジュリーはシドニー五輪の2年後に生まれた。

□□□

Julie was born () () () the Sydney Olympics
took place.

〈京都教育大〉

477 彼女はおもちゃを床一面に散らかしっぱなしにするので、私がそれらを拾わなければならない。

478 どんなにみずぼらしくとも、わが家にまさる場所はない。

Point 121 ∴ その他の注意すべき語順

477 他動詞＋人称代名詞＋副詞

標準

▶「他動詞＋副詞」の表現は、名詞を目的語にする場合は、たとえば pick up A / pick A up のいずれの語順も原則として用いるが、人称代名詞を目的語にする場合は必ず pick A up, すなわち「他動詞＋人称代名詞＋副詞」の語順になる。

▶再帰代名詞 (oneself) が目的語になるのは、原則として文の主語と一致するときのみ。and 以下は I が主語だから、② themselves up は不可。

478 Be it ever so humble 「どんなにみすぼらしくても」

発展

▶Be it ever so humble は、No matter how humble it may be に相当する表現で、「どんなにみすぼらしくても」の意味。成句表現としてこのまま覚えること。

479 A after ... 「…のA後に」

標準

▶時の前後の差を表す表現は、接続詞または前置詞の after / before の前に置く。つまり A after ... 「…のA後」、A before ... 「…のA前」と表現するのである。

▶本間は「…の2年後」だから、two years after (...) となる。